

## 伝統が育む日本の内装文化

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

四季折々の自然に恵まれた日本は自然と調和する住生活の文化を育んで来ました。その伝統を引き継ぎ、現代でも日本人は生活空間に美しく雅な設えを求め、完成度の高い内装に心が満たされ、喜びを感じます。さらに現在では、社会構造や環境の変化に伴い、住まいだけでなく、学校や医療・介護施設、商業スペース、オフィスなど様々な生活空間に暮らしの快適さや心の安らぎ、あるいは建物自体の価値向上を求めるなど、生活者のニーズは多様化しています。そして内装分野でも、多くの要望やこだわりに応える機能やデザイン、それらをトータルにコーディネートすることへの期待が高まっています。

このように建築物の満足度に大きな影響を与える内装は、今後も市場として大きな成長の可能性を持っています。ただ、そこには商品だけでなく、キメ細かで細部にまで行き届いた日本独自の内装施工技術が欠かせません。しかしながら現在、内装施工職人の高齢化や人材不足に伴い、技能の伝承に大きな課題が生じています。背景には、内装施工職人が置かれている業界や現場での厳しい立場、実態があります。業界を活性化し、将来に亘って技術を伝承し続け、社会のニーズに応えるためには、現在の流通から施工に至る諸問題の改善に向けた業界全体での取り組みが必要です。

こうした中、当社では昨年、次世代を担う業界関係の方々にお集まり戴き、内装業界の将来像を議論する場を設けました。このような交流や議論は業界の若返りを促し、共にこの業界を盛り上げて行こうという一体感を強め、業界の魅力を社会に発信する力になるものと考えています。

私共サンゲツは、空間のイメージを比較的リーズナブルに一変できる日本の内装文化のグレードの高さを広く伝え、伝統が育んで来た内装・インテリア業界をよりご理解戴けるよう本年も努力して参る所存です。引き続き格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

壁装新聞(第418号)より引用